

五峡の子

学校だより 10月号
荒川区立第五峡田小学校
校長 出井 玲子
令和4年10月3日(月)
TEL 3892-9515
五峡小ホームページ

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAI5HAKETA-E/>

【学校教育目標】 「かしこい子」 「やさしい子」 「たくましい子」

一步一步の積み重ね

校長 出井 玲子



9月26日(月)～28日(水)は5年生の清里移動教室でした。初めての宿泊行事への挑戦は、2学期明けすぐから始まりました。2泊3日の宿泊行事の3日間の行程を学ぶと、その先は、班長をはじめ各係ごとに仕事内容の確認と検討、班行動でのルール決めなどを行います。少しずつ活動の主体が教師から子供たちにシフトしてきました。いよいよ本番、1日目のほうとう作りや2日目の登山・キャンプファイヤーでは、班長やそれぞれの係が中心になって活動することができました。学園に着いたとたん、各係が活動の内容表を学園内に分かりやすく表示したことにも驚きました。例えば、入浴係が清掃当番表を風呂場の入り口に表示するなどです。スタートから自分たちで行動しようとする旺盛な意欲が見られました。注意を受けたりやり直しをしたりすることもありましたが、積み重ねること、それを協力して行うことで一步一步の成長につながったと思います。

今年度4、5、6年生の宿泊行事を通して体験することの意義を改めて実感しました。そして多くの方々にお世話になってできた行事であることに子供たち共々感謝申し上げます。

さて、10月2日は、開校記念日でした。今年度91周年を迎えます。

10年後に100周年を迎える「五峡小の誕生日」に因んで「十年屋」という本を紹介します。「十年屋」は、大切なものや遠ざけたいけれど捨てられないものを魔法の力で10年間預かってくれるところです。預かって欲しいものがある人に「招待カード」が届きお店に呼び寄せられます。お代はお客さんの寿命一年分。捨てられそうになったぬいぐるみや友達から盗んでしまった指輪、病気で入院してしまった友達に渡したい雪だるまをそのまま解けないように保管してくれるなんていうものもあります。10年後、保管期間終了の知らせが届くと忘れていた記憶がよみがえり、嬉しい気持ちや後悔の気持ちが思い出されます。引き取りにいくか行かないかはお客さんの自由です。私は、引き取り人を孫と設定して時計職人のおじいちゃんが預けた懐中時計の話が特に好きです。おじいちゃんが一年分の寿命を差し出しても孫に残したかったのは、「実りある人生を精一杯過ごして欲しい」という思いでした。私自身、10年前に亡くなった母がいつも「感謝の気持ちを忘れずに精一杯生きなさい」と言っていたことを思い出すきっかけになりました。皆さんが「十年屋」に預けたい物はどんな物でしょうか。魔法使いの「十年屋」からの誘いは滅多に来ないかもしれませんが、この本は、これからの「十年間」を一步一步大切に生きようと思うきっかけにはなるものかもしれません。

4年生位から大人の方でも楽しめる本です。読書の秋にいかがでしょうか。